

乾式遮音二重床床先行工法において 高い床衝撃音低減性能を実現

特許
 出願中

環境に配慮し、床としての剛性と 歩行感の向上を兼ね備えた“NSフローア-Ⅲ”を開発

今回開発したNSフローア-Ⅲ/下地合板タイプは、従来のNSフローア-Ⅱから壁際の納まりと支持脚を変えた乾式遮音二重床工法です。NSフローア-Ⅱと比較しコスト削減と高い床衝撃音低減性能を実現しております。また下地合板を広葉樹(ラワン)合板から、植林によって持続的生産・安定供給が確保し易い針葉樹合板を使用することによって、資源保護や温暖化防止など環境面に配慮した工法となっております。

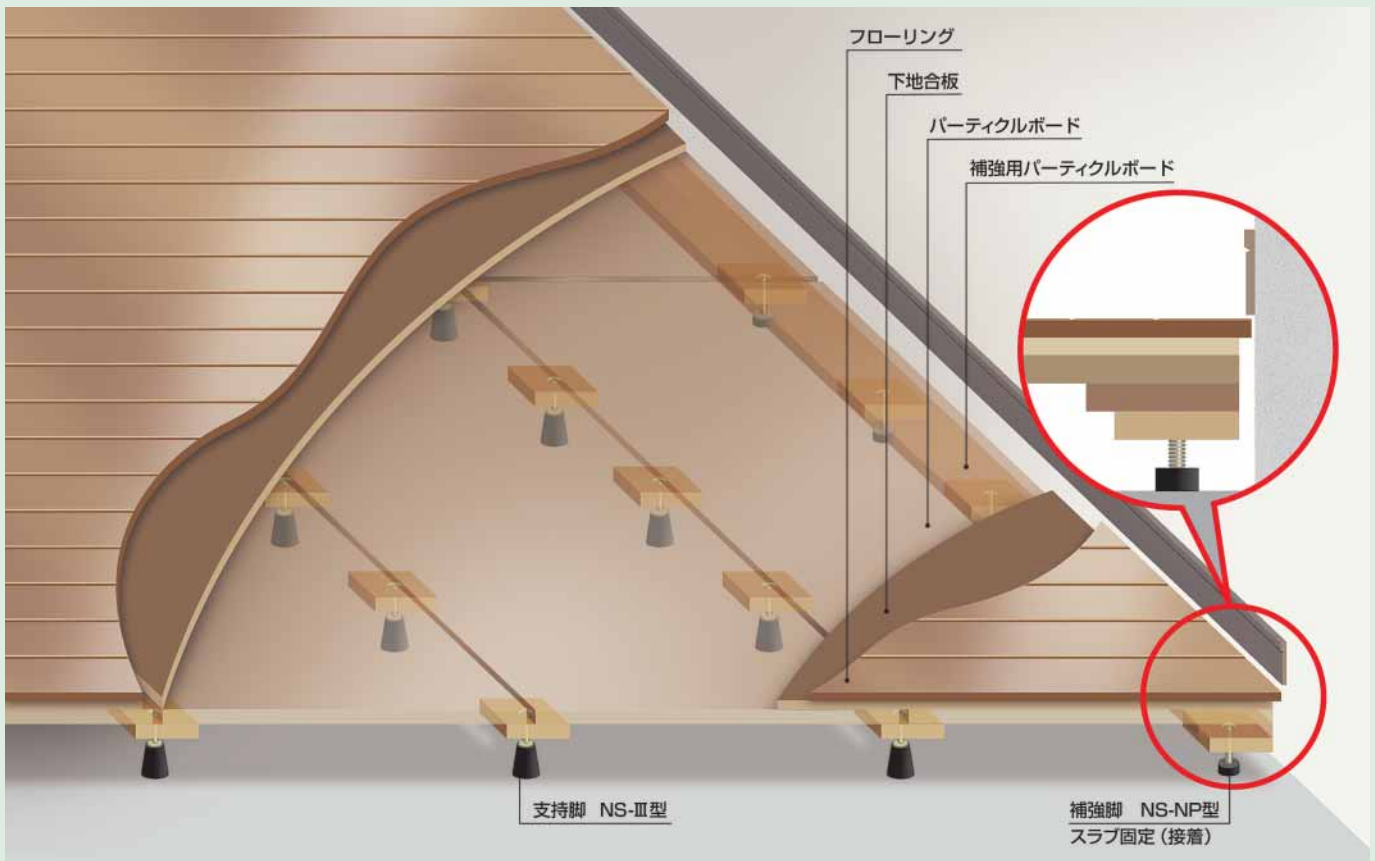
NSフローア-Ⅲは、従来のNSフローア-Ⅱに更なる改良を加え、作業効率UPを可能にしております。具体的には、床下には支持脚NS-KM型を改良した新型支持脚NS-Ⅲ型を採用、壁際は防振システムネダNSN型から補強用パーティ

クルボード(水平リブ材)と補強脚NS-NP型を併用する新工法となっております。補強用パーティクルボードは、パーティクルボードの端材を利用することにより、残材等の削減も可能となっております。間仕切壁下においては、防振システムネダNSN型を採用しております。NS-Ⅲは、床衝撃音遮断性能を悪化させることなく床としての剛性と歩行感の向上を兼ね備えた工法となっております。なお、本工法は特許出願中です。

財団法人 日本建築総合試験所においてNSフローア-Ⅱと同等以上の高い床衝撃音低減性能を確保していることを確認しております。

特徴

- ① 環境に配慮した下地合板(針葉樹)を使用。
- ② 高い床衝撃音低減性能。
 (軽量:ΔLL(Ⅱ)-3, 重量:ΔLH(Ⅱ)-2)
- ③ 床としての剛性と歩行感が向上。
- ④ ゴム硬度
 NSフローア-Ⅲ用支持脚 NS-Ⅲ型: 65°





新型支持脚 NS-III型 (意匠登録済)



壁際部納まり
新型支持脚 NS-III型



パーティクルボードジョイント部納まり
新型支持脚 NS-III型



下地合板・フローリング施工状況



軽量床衝撃音試験(タッピングマシン)
壁際 巾木納まり

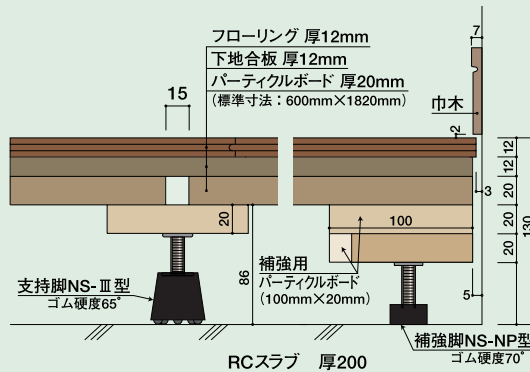


重量床衝撃音試験(バングマシン)
壁際 巾木納まり

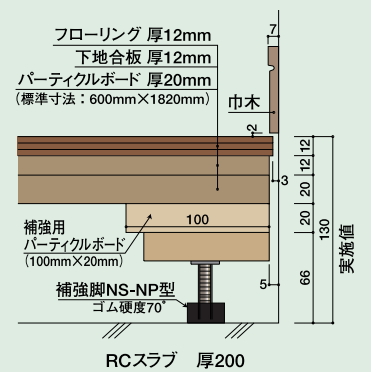
試験概要

試験方法：JIS A 1440-1,2
 試験施設：壁式構造実験室
 試験床版：200mm厚RCスラブ
 加振点数：対角5点
 試験機関：
 (財)日本建築総合試験所
 試験日：2008年1月9日
 試験番号：IVA-07-0221

試験体図面



壁際部(パーティクルボード600mm方向)断面図・床中央部断面図



壁際部(パーティクルボード1820mm方向)断面図

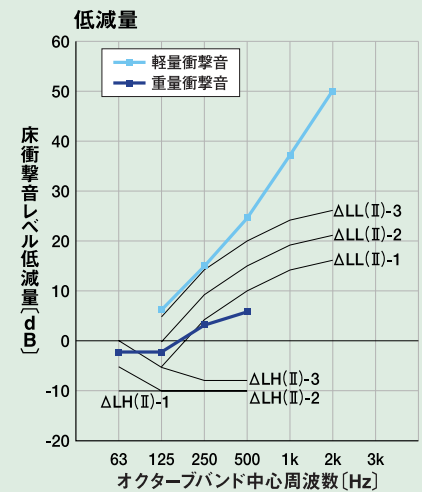
床衝撃音低減性能

軽量： $\Delta LL(II)-3$
 重量： $\Delta LH(II)-2$

- 上記床衝撃音低減性能は、床衝撃音レベル低減量試験結果から「床材の床衝撃音低減性能の等級表記指針」に基づき当社にて算出した性能表示です。
- 上記の床衝撃音レベル低減量のデータは、壁式構造実験室における200mm厚RCスラブ上での試験結果です。床の断面仕様や壁際納まり仕様が変更された場合には、床衝撃音レベル低減量にも変化が生じることがあります。

表1 床衝撃音レベル低減量試験結果

中心周波数 (Hz)	床衝撃音レベル(単位:dB)					
	タッピングマシン			バングマシン		
	試験体無	試験体有	低減量 ΔL	試験体無	試験体有	低減量 ΔL
63	69.8	64.8	5.0	88.4	90.4	-1.8
125	71.3	64.4	6.9	68.3	70.1	-1.8
250	75.7	61.0	14.7	58.8	55.5	3.3
500	74.9	50.4	24.5	48.9	42.8	6.1
1000	76.0	38.4	37.6	43.5	33.2	10.3
2000	76.9	26.8	50.1	40.6	24.8	15.8
4000	75.3	17以下	-	38.2	19以下	-



【総発売元】

野原産業株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-1-11 友泉新宿御苑ビル
 TEL.03-3355-4167 FAX 03-3357-7690
<http://www.nohara-inc.co.jp>

【製造元】 有限会社 泰成電機工業

NNS

Infill Team